

## 市史講座第3回ミニレポート

8月20日(土) 第3回「近世水運と松江」(講師:島根近世史研究会 多久田友秀先生)が開かれました。



多久田先生は幕末の松江渡海場とはどのようなものであったかについて、慶応元年から同3年の記録「御用留 舟目代六右衛門」により詳しく解説されました。

宍道湖・中海水運の中心的・特権的な役割を担い、第二次長州戦争には多くの船が物資の輸送にかかわったとされる松江渡海場の職務と権限、船の規模や所持者、藩・藩役人との関係等について解き明かされました。

当日は100名を超える受講者が熱心に聴講されました。